

人と環境にやさしい「農」と「食」について



生活者ネットワーク
三原 智子 議員



質問 環境に配慮した農業の取り組み、地域農業と密接に係る食育の取り組みについて伺う。

市長 環境に配慮した農業については、福生市農業振興計画の基本方針「活力ある農業経営の推進」の中で環境にやさしい農業を推進すると定めており、福生市農業委員会や各関係機関と連携し、東京都エコ農産物認証制度の認証取得の推奨に取り

組んでいる。これは、基準に基づき化学合成農薬と化学肥料を削減して作られた農産物を認証する制度で、認証を受けた生産者は認証マークを付けて販売が可能。現在市内8名の農家が計74品目の認証を取得している。地域農業と密接に係る食育の取り組みについては、計画の基本方針「農のあるまちづくり」の中で地産地消と食育を推進すると定めて

おり、学校給食へ野菜の提供や、農業委員会等と連携し、市内イベント等での直売など、地場産農産物の供給を通じ食育を推進するほか、市内小学校での米や落花生栽培等の農業体験学習、幼稚園や保育園に対し地域の農家によるサツマイモの収穫体験等を実施いただいている。今後も農業委員会や市内農家等と連携し、食育の推進に努めたい。



▲東京都エコ農産物認証マーク

地域コミュニティについて



正和会
小澤 芳輝 議員



質問 コロナ禍における地域コミュニティの現状と今後の展開を伺う。

市長 以前のような地域コミュニティに完全には戻らない中、まずは町会・自治会を活性化するため、町会長協議会の地域活性化検討部会の提案でPR動画と紹介パネルを作成して市役所で展示・放映し、町会・自治会の魅力を発信した。同時に、全戸配布している町会長協議会の会

報「ちいき」で加入促進を図った。地域コミュニティは市民主体のまちづくりに欠かせず、市も新たな施策の提案などで今後も密接に協力し、まちづくりを共に進めたい。

居場所づくりとしての町会・自治会館等の活用について

質問 サークル活動以外で、独居高齢者等が2、3人で集まる場所として町会・自治会館、公園等を利用

したい場合、活用の現状と考え方は。

市長 気軽に集まれる交流の場・仲間づくりの場として、町会・自治会の会館を活用して小地域福祉活動等が行われ、公園ではラジオ体操やグラウンドゴルフ等高齢者の交流の場に使われている。今後は市職員の派遣等で活動を引き続き支援し、公園は地域コミュニティの場として利用しやすいよう維持管理に努める。



▲市役所で展示・放映したPR動画と紹介パネル

幼児専用車（園児バス）の安全管理について



公明党
青木 健 議員



質問 静岡県内で発生した園児バス事故を受け、市内保育所等が送迎等で使用するバスの運行状況と安全管理について伺う。

市長 本市では、万が一にもこのような事故が起きないように気を引き締めている。市内の運行状況は、幼稚園4園で送迎用として、一部の保育園で行事に限定して運行。安全管理については、各法人・施設の責任

で行われているが、今回の事故を受け、報道翌日には市の幼稚園担当者から口頭で確認等を行った。また、国も今回の事態を非常に重く受け止めており、自治体等に安全管理に関する緊急点検と実地調査を求めた。これを受け、東京都は点検のためのチェックシートを作成し、市区町村に展開。このシートには運行の実態を確認するほか、安全管理マニュアル

の有無などが含まれており、安全管理マニュアルを作成していた施設は市内4園のうち2園であった。現在、幼稚園2園に対する実地調査が終了、他の2園も12月中には完了予定。尊い命を預かるという意味で行政の役割は極めて重大であり、現時点で送迎バスに関する制度上の規制等が十分でない面もあるが、柔軟に対応し、幼い命をしっかりと守りたい。



子育て支援策が奏功しているかについて



日本共産党
池田 公三 議員



質問 日経新聞8月27日付の「福生 子育て支援策奏功」の記事は、国勢調査の結果に基づいて、若年女性人口が増加していることを根拠としている。しかし、住民基本台帳で調べると減少している。市としてはどう考えているか。

市長 記事は独自に取材された客観的データであり、「日経クロスウーマン」の共働き子育てしやすい街

ランキング7年連続全国トップテン入りした事実も踏まえた多面的な評価である。「子育てするならふっさ」をスローガンに進めた支援策が記事に扱われたことは喜ばしく、なお一層の取り組みを進める糧になる。

質問 国勢調査の人口と住民基本台帳の人口では大きな差異がある。市の子育て支援策は、人口減少対策としては効果を発揮していないと考

える。市はどう考えているか。

企画財政部長 人口減少対策の定住化施策については、人口ビジョンと総合戦略に基づき、令和2年度から総合計画（第5期）基本計画の重要施策として進めている。現時点では、計画終了時の人口目標値を上回っているが、令和6年度末に下回りそうな場合は、施策や目標設定を見直し効果的なものに改定する。



米軍横田基地について



日本共産党
市毛 雅大 議員



質問 9月10日に空中給油機がブームと呼ばれる装置を機体から出したまま横田基地に緊急着陸した旨の報道があったが、国からの情報提供の有無等を伺う。

市長 国からの情報提供は受けていなかった。今般、国に確認したところ、報道があったことは承知しているが、米軍機の飛来の詳細については米軍の運用に関するものであり、

米軍はこれを明らかにしていないとの回答であった。この回答を受け、11月29日に市から国に対して、横田基地の運用に関しては適時適切に情報提供するように申し入れた。

入札等の公契約の制度について

質問 本市における制度のこれまでの経過と現状、今後の課題を伺う。

市長 市の発注する入札・契約では、設計金額に応じた制限付一般競

争入札や指名競争入札等を行う中で、談合や贈収賄、ダンピング受注等を防ぐ契約事務の改善を重ねてきた。また、東京電子自治体共同運営電子調達サービスの電子入札を活用し、入札時の談合や予定価格漏洩リスクの回避を図っている。今後も不断の見直しと改善を求められており、公共工事やサービスの質の向上に適切に取り組みたい。



▲東京電子自治体共同運営サービスストップページ